

(仮称) 平和資料館の建設について

本市では戦争の悲惨さや平和の大切さを市民に伝えるため、「原爆犠牲者慰霊平和祈念式典」の実施や、「北九州市非核平和都市宣言」を行う等、様々な取り組みを進めてきた。

戦後71年が経過し、戦争の記憶の風化が懸念されており、本市に関係する戦争の記憶を後世に伝えることが大きな課題となっている。

そのため、戦争の悲惨さを伝え、平和の大切さ、命の尊さを考えるきっかけとなるよう、新たに(仮称)平和資料館を建設するもの。

1 (仮称) 平和資料館の建設候補地

勝山公園内(「勝山こどもと母のとしょかん」横・勝山公園駐車場隣)

2 (仮称) 平和資料館のあり方を考える懇話会

施設のあり方や展示コンセプト等、資料館の基本的な方向性について、学識経験者や市内の戦争体験者、他の公立の平和資料館の関係者等から意見を聴取する「(仮称)平和資料館のあり方を考える懇話会」を来年1月に設置する。

【主な意見聴取項目】

○コンセプト

例：北九州市における戦争の悲惨さを保存・継承する施設
平和の大切さ、命の尊さを考えるきっかけとなる施設

○展示内容

例：八幡大空襲を始めとする本市の空襲に関する資料
長崎の原爆に関する資料
戦後の復興に向けた市民生活に関する資料
米国国立公文書館から収集した資料

○施設の概要

例：展示手法、展示室や図書室等の諸室